

Evidence synthesis における図書館員の役割

眞喜志まり

慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学教室 HTA 公的分析研究室

Evidence synthesis (以下、ES) レビュー研究と支援はヘルスサイエンス分野において長年にわたり中心的な役割を担ってきたが、他の分野においても急速に普及している研究手法である。発表者は数年前まで大学の図書館で司書として働いていた。業務の中で、卒業研究や修論・博士論文執筆のための文献探し、学習・レポート作成のための参考資料の探し方（一般的にレファレンスと呼んでいる）について相談を受けたりすることはもちろん、システマティックレビュー（以下、SR）やスコーピングレビュー（以下、ScR）を実施するための文献検索や2次スクリーニングや分析に使用する為のフルテキスト入手をサポートさせていただく機会が増えてきたと感じていた。海外の大学図書館ではSRを含めたレビュー実施のための学習ガイドが図書館のサイトで提供されていたり、検索サポートが業務として行われていたりするが(1-3)、国内ではこのようなサービスを提供している図書館は少ない印象がある。しかし、今後増えていくことが期待される(4)。また、図書館員が系統的レビューに関与することで、検索方法と報告の質が向上することが実証されている。ESに参加し研究者と協働できることもこれから図書館員として働く中で自身の強みとなると考えている。

本発表ではヘルスサイエンス分野はもちろん他分野を担当する図書館員も、さまざまな環境や文脈でES業務に携わる際の参考となるよう、ESの過程において、図書館員またはInformation Specialist/Information Consultantが研究者とどのように協働できるか紹介したい。また、私たち自身も、頑健なエビデンスとして活用できる質の高いレビューの実施に貢献できるよう、日々研鑽を重ねるためのマインドを一緒に考える機会としたい。

1. libraries Tu. Evidence Synthesis and Systematic Reviews 2024 [cited 2024 Oct. 18th]. Available from: <https://guides.temple.edu/systematicreviews#s-lg-box-30842932>.
2. library Cu. A Guide to Evidence Synthesis: Cornell University Library Evidence Synthesis Service 2024. Available from: <https://guides.library.cornell.edu/evidence-synthesis>.
3. library UoM. Evidence Syntheses (Scoping, systematic, & other types of reviews) 2024 [cited 2024 Oct. 18tg]. Available from: <https://guides.lib.umich.edu/sysreviews>.
4. 川村 路代, 河野 由香里. 北海道大学附属図書館「文献検索相談・代行サービス」実践報告. 医学図書館 = Journal of the Japan Medical Libraries Association. 2022;69(3):160-4.